



北海道中札内高等養護学校 コミュニティ・スクール通信

中札内高等養護学校
CS(学校運営協議会)事務局
発行日:令和8年6月26日

令和8年度 北海道中札内高等養護学校 学校運営協議会

	委員	所属
1	岡 林 あさひ	中札内教育委員会 次長補佐
2	下 浦 強	中札内村役場 福祉課長
3	加 藤 千 晶	中札内村役場 総務課長補佐
4	阿 部 徳 幸	社会福祉法人ポロシリ福祉会 共同生活援助事業所 グループホーム中札内 管理者
5	吉 倉 孝 尚	中札内村商工会 会長
6	戸 田 幸 治	6区町内会 会長
7	杉 江 茂	中札内高等養護学校援護会 会長
8	藤 田 勝 彦	中札内高等養護学校援護会 理事
9	鳥 倉 華 以	地域住民
10	鈴 木 理 沙	中札内高等養護学校 PTA会長

学校長
佐藤 貴雄

事務局
鈴木 雄也(教 頭)
山田 芳範(事務長)
小田原峰広(総務部長)
島 由佳(教務部長)
武田 圭史(進路指導部長)
中村 智史(寮務主任)



令和8年度第1回コミュニティ・スクール(学校運営協議会)開催

6月16日(火)、今年度1回目の学校運営協議会を本校会議室にて開催いたしました。今年度は異動等があり、委員の皆様顔ぶれが変わりました。当日は、5名の委員の皆様にご出席いただき、学校経営の方針や教育活動についてご説明を行いました。

1 令和8年度新年度方針について

佐藤校長より、今年度のグランドデザインについてご説明しました。「笑顔あふれる学校をつくる」をスローガンとし、生徒はもちろん、働く教職員、保護者、地域の方々、関わる人すべての方々の笑顔のあふれる学校を目指し「心をつくる」「繋がりをつくる」「安心をつくる」「未来をつくる」の4つの柱を具体的に示しております。

学校経営の基本方針

- 1 生徒が生き生きと学習し、生きる力を育む学校
- 2 学校に関わる人々が「ウェルビーイング」を実感できる学校
- 3 地域社会に関われ、必要とされ、共に歩んでいく学校

重点目標

- 1 挑戦・寛容・協働を育む教育活動の実践
- 2 持続可能なインクルーシブ教育の創造
- 3 時代に即した校内諸規定の見直し
- 4 新学習指導要領を見据えた教育課程の見直し

校訓 仲良く 明るく たくましく
学校教育目標 心豊かに生きる力を育てる学校

R8年度グランドデザイン

2 インクルーシブな学校運営モデル事業について

3年計画の3年目となる本事業について、小田原主幹教諭よりご説明しました。更別農業高校と本校が6.6 km離れているなか、オンラインでの学習や音楽、美術、体育などの多様な共同学習の取組をこれまで進めてきました。事業終了後を見据える中、全ての生徒が多様な個性を認め合い、支え合いながら、学校の枠を越えてつながり、共に学ぶ教育環境づくりの推進に取り組んでいきます。



インクルーシブな学校運営モデル事業 リーフレット

3 インスタレーション「十勝の自然 魅力発信」～段ボールアート～

昨年度に引き続き、今年度も十勝の魅力を発信する段ボールアートにチャレンジします。日高山脈に生息する動植物や十勝、日本の食を支える生産動物など新たな取り組みを予定しております。帯広駅や帯広空港での展示を計画中です。多くの方々に十勝の自然を知っていただく活動にしたいと考えています。



昨年度の帯広駅の展示

4 学校いじめ防止基本方針について

いじめ防止の取り組みについてご説明し、令和7年度のいじめの認知件数と解決の状況、今年度1回目のいじめアンケート結果についてお示をいたしました。組織的に丁寧に対応を行っていくことを確認し、第2回の運営協議会においては、その後の経過当も含めて説明を行います。

5 学校見学

授業見学を実施しました。授業をしている生徒の姿を実際に見ていただき、作業について説明を受けたりしていただきました。また、寄宿舎の見学も行い生活の様子を知っていただく機会となりました。委員の皆さんからは「技術力の高さを感じました。」「生徒が生き生き楽しそうに学んでいました。」「専門的なことを学んでいると感じました。もっと自信を持って社会に出てほしいと思いました。」と多くの感想をいただきました。

